

地域づくり・人づくり・町づくり

TAGAMI KOUMINKAN DAYORI

豊かな自然に囲まれて

穏やかな清流「浅の川」と、緑豊かな「角間」の里山に囲まれて。

田上本町
田上本町第2
朝霧台
田上町
田上1丁目
田上2丁目

田上新町
田上公町
田上さくら並木
田上の里

太陽が丘・ひまわり
・あおぞら
・そよかぜ
・ゆうひみ

上若松町
若松町
若松町兼六台
若松町東
若松町第3
若松町1丁目
若松町2丁目

若谷町

角間新町

角間新町

下中島
旭日会

もつ里

旭町・上
・中
・下

たがみ
公民館だより

第106号

平成31年3月31日

編集・発刊 田上公民館広報視聴覚部

<https://tagamicc.jp/>

田上町の秋祭り

平成30年度は台風や豪雨による被害が多い年でした。

台風25号は10月7日曜日、秋祭り当日の深夜未明にかけて石川県付近を縦断したのです。その影響で当日行われる予定の金沢ロードレース大会も中止になりました。

小雨まじりの朝を迎え田上町にある「榊原神社（神明社）」には朝早くから氏子が集まり

神主によるお祓いが始まりました。神明社は田上町の名の由来と

される「田上入道」という方が室町期に居城を構え、

その館跡の先端に鎮座しています。1712年に

加賀藩の寺社統制により「明神」と称されましたが

1828年「神明社」に改称され1874年

榊原神社と合併
の後村社に列格
されました。

建物は昭和37年1月火災の為消失しましたが

同年鉄骨を主材とした社殿が復興しました。

御祭神は皇室の祖神とされる天照大御神ですが方位

の吉凶をつかさどる大將軍神も祀ります。

榊原神社（神明社）





今年の亥年は西の方角に大將軍があり、その方角は万事に凶とされ、3年続く事で「3年塞がり」と呼ばれ、特に土地を動かすことが良くないそうです。氏子の話題の一つでもありました。その後神社を威勢よく出発したのが秋祭り恒例の大人神輿です。神輿を振り動かすことで古くより神の靈威を高め豊作や大漁を願うものとされてきました。

永年、先導を務めてきた田上町の本多一寿（ほんだかずひさ）さんの掛け声で担ぎ手が一つになって威勢よく「ワッシヨイ、ワッシヨイ」と田上の各地区を駆け抜けて行きます。

その日は午後まで神社で参拝する人で賑わいました。

村田 修二



おめでとうございます。

第56回金沢市公民館大会

公民館フェア「楽集」が2月17日（日）金沢市文化ホールにて開催されました。

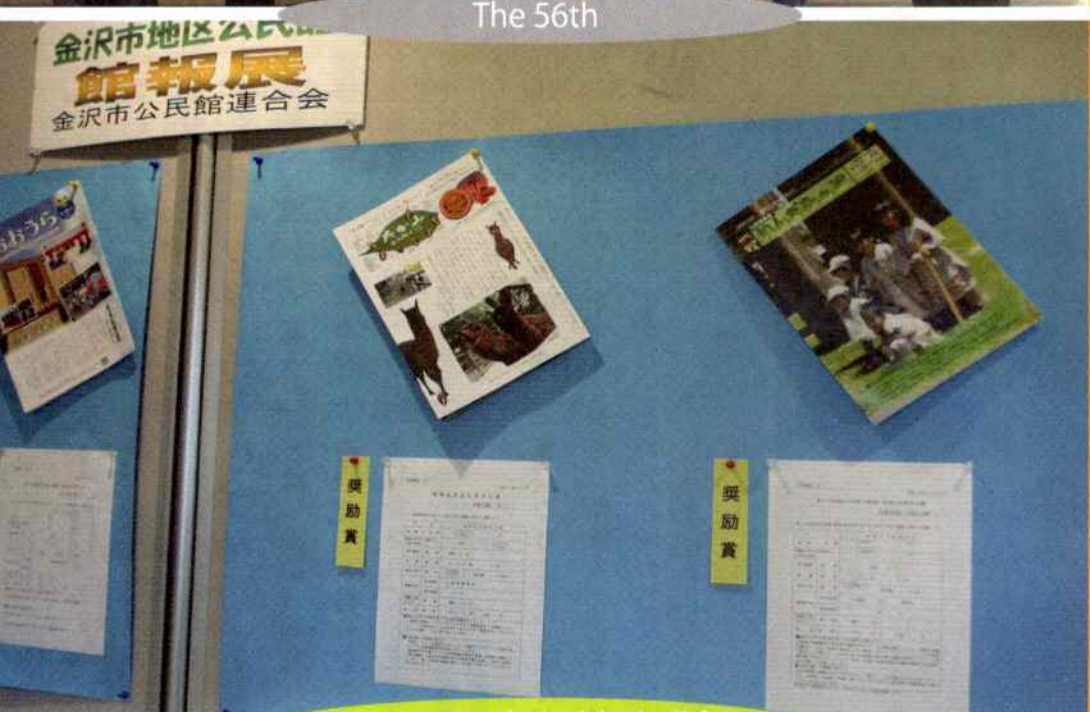
当公民館から作品展示、コーラスフェスティバルにコーラス杜の里が参加しました。

式典では、優良役職員表彰を山岸 豊さん、永年勤続表彰に堀岡 昭夫さん、河合 雄二さんが受賞されました。

また、館報第105号が奨励賞を頂くことが出来ました。



The 56th



Kanazawa-shi public hall fair



金沢市公民館優良役職員表彰

山岸 豊 さん

（市公連会長表彰）

15年 堀岡 昭夫 さん

10年 河合 雄二 さん

城東地区合同成人式開催される

平成最後の城東地区合同成人式が1月12日（土）に今年も本多の森ホールにて開催され、当公民館からも101名が参加しました。成人の日とは、国民の祝日に関する法律では「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます。」と定義されています。今年度中に20歳の誕生日を迎える若者たちは、大人への仲間入りを果たす年です。

山野之義金沢市長からは、「金沢の町には、魅力があるからたくさんの方が来てくれる。新成人の皆さんは、みずみずしい感性を生かし、人の為地域の為に汗を流せる人材になり、魅力あふれる町を作ってほしい。また、本日成人できたことを、両親に感謝の気持ちを言葉にして伝えてほしい」と挨拶がありました。

成人の日に込められた本当の意味を理解することが、大人になることの第一歩なのだと思います。是非、成人を迎えられた方々には、大人への一步を踏み出して今後の日本を支えるために頑張ってもらいたいと思います。そのために、周りの大人も温かい気持ちでしっかりとサポートしていかねばならないでしょう。

また、場所を移しての茶話会では、今年もサプライズで、新成人が卒業した当時の担任であった先生（田上小一楠 葉子先生・橋元浩志先生、森の里小一東 佐千雄先生・長谷川 麻紀子先生）に出席していただき、皆さんにお祝いや激励の言葉を当時の思い出話などで、久しぶりの再会を楽しんでいました。

終了後も、別れを惜しむかのようになかなか別れることが出来ない様子でした。



平成30年度金沢市城東地区公民館合同成人式





馬場航志郎

この度、平成最後の成人式をこのように開けたことを嬉しく思います。

社会に出て自分の夢を追いかけたい人、自分の夢の為に大学へ行って精進している人、色々な仲間の姿に自分ももっと頑張らなければといった気持ちになることができ、中身のある成人式になりました。

自分も大人として非常識なことはせず、ただ、いい意味で常識を覆せるような大人に、そして料理人になりたいと思います。

これまでお世話してくださった地域の方々をはじめ、先生方やクラブの指導者の方々、そして何より家族、両親に感謝し、これからより一層飛躍できるよう頑張っていきます。



木村紘二郎

この度は、私達新成人の為に盛大な成人式を執り行って頂いたことに感謝いたします。

山野市長をはじめ、その他たくさんのご来賓の方々に足をお運び頂き、併せて御礼申し上げます。

今年の成人式は平成に行われる成人式として最後のものとなりました。新たな時代に新成人として歩み出した私達ではありますが、これからの新時代を担っていく身として、またひとつ大きな一歩を踏み出す時です。

山野市長からのお言葉にもあった通り、これまで私達の成長を傍で見守り続けてくれた両親、家族、そして、人生の成長を支えてくださった数多くの先生方や指導者の方々、これまで関わった全ての方々への感謝の気持ちを持ち、恩返しをする時でもあります。

私達が生まれ育ったこの金沢の地で、これからまたひとつ成長を遂げ、活躍をしていきたいと思っています。私達の故郷の更なる発展に向け、貢献していきます。

2019年 成人式を終えて



今年も盛大に

文化祭

文化教養部長 福田和夫



第40回田上公民館ふれあい文化祭は、天高く快晴の青空の下で、10月21日の日曜日に開催されました。今年の開催テーマは、「たがみ民俗文化再生!」。近年における地域の盛り上がりは、地域伝承の文化・民俗文化によるところも大きく、ここ「たがみ(地域)」も然りです。

午前9時半、屋外催事の皮切りは、地元活性の一翼を担っている田上本町たいこ倶楽部のオープニング太鼓。四年前の初出演以来、勇壮な演



舞で開幕に欠かせない存在となっています。屋内催事は、公民館講堂で、田上小学校5年生の厳かな謡曲「羽衣」で開会を飾ることとなりました。

午前中の屋外で大人気だったのが、今回目玉企画とした日本最大級金沢市消防はしご車試乗会。地上高約50mからの眺望では、真下にたがみ一円を見渡せるばかりでなく、はるか日本海まで見ることができ、参加者からも貴重な体験ができ感動したとの感想を多く頂きました。





一方、屋内講堂では、第40回記念として、「田上の歴史研究成果と民俗文化の再生〜大人のプラタガみ〜」と題し、関戸正彦館長とふるさと歴史研究会による講演が行われました。講演では、田上校下・杜の里校区の新しい発見探しの提言があり、たがみの懐古と文化民俗再生のいくつかの具体的な取組の図解説明に、来場の方々も満足いただいたようでした。関連催事として、民俗再生プロジェクトテーマのひとつ、文化祭初登場の「虫送り太鼓演舞」（田上本町虫送り太鼓保存会）も屋外会場で演じられ、将来の発展が期待できる印象を受けました。

屋外では、このほか、杜の里エンジェルズのチャリーディング、田上消防分団と子供はしごのぼり共演での加賀鳶はしご登りが行われ、壮麗華美と規律の融合を感じることができました。

屋外の模擬店に目を移すと、つきたて餅の無料配布やお好み焼き、焼

き鳥、こんにゃくしんの販売、クレープの移動販売車など、午前中に売り切れとなる店もあり、追加・延長を求める声も頂きました。

また、屋内のイベントでは、民謡教室による伝統芸能発表や大正琴の演奏、わが町たがみの今昔・辻講釈、田上の民話紙芝居、普段着のお茶席などいずれも活況を呈し、趣味と一般作品、各教室の作品の展示では、出色の作品が目白押しで、昨年より展示いただいている鉄道模型のジオラマには、今年も子供たちが集まり楽しむことができました。

餅つき体験、太鼓打ち体験などの体験型イベントや、キッズ似顔絵コーナーは例年好評で、金大留学生（日研生）にも楽しんで頂きました。まだ一度もご来場のない方は、来年こそは親子揃ってお越し下さい。

午後3時、閉会宣言。後片付けが始まり、夕焼けにあたりが照らされる頃、祭り広場は日常の「田上公民館」に戻りました。



十年前の第30回祭では、加賀百万石の古典芸能「加賀万歳」（加賀万歳保存会）を記念企画としましたが、今回は地域由来のイベントを中心にプログラム構成できたことは、たがみ地域文化醸成の賜物と感じました。

次の十年、地域密着で人と文化のふれあい空間の場として文化祭も共に成長し続けていけることを祈っています。

最後に、文化祭イベント・出品に参加いただいた方をはじめ、運営にご協力いただきました関係諸団体、公民館実行委員の皆様には、感謝・御礼申し上げます。



ふれあい

文化祭

麻雀大会開催される

いきいき社会部 河合 雄二

平成30年度も残り少なくなり、公民館行事も最終に近くなりました。今年も参加者は定数を超えて応募があり、盛大に麻雀大会が開催されました。今回も御夫婦の参加が数組あり、若い姿も見られました。8卓、32人で行われた大会ですが、笑顔と賑やかな会話は例年通りでした。優勝は、旭町の橋本 學さんでした。最後に惜しくも優勝を逃した太陽が丘の川尾 邦明さんも大健闘でした。次回も開催を予定しておりますので、心覚えのある方、参加をお待ちしております。



成績

優勝

橋本 學さん(旭町)

準優勝

川尾 邦明さん(太陽が丘)

第3位

柿本 信勝さん(旭町)

Vol.106

発行日/平成31年3月31日
発行人/広報視聴覚部

部長	三浦 清宏
副部長	村田 修二
委員	竹田 裕一郎
	横江 光浩
	相川 誠二
	奥山 雅代
	宮崎 礼子
	坂本 尚美
	ニツ寺 琴栄
	小西 貴広

特別編集員 彦坂 哲郎

ご意見・ご感想・ご希望を
お聞かせください。

下記FAXまでお寄せください。

Kanazawa Tagami Community Center
〒920-1156 金沢市田上の里2丁目3番地



TEL

076-261-1331

FAX

076-261-1516

<https://tagamicc.jp/>